



平成24年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年6月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アルチザネットワークス
 コード番号 6778 URL <http://www.artiza.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年6月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 床次 隆志
 (氏名) 清水 政人

TEL 042-529-3494

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年7月期第3四半期の連結業績(平成23年8月1日～平成24年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年7月期第3四半期	1,276	42.2	55	—	87	—	86	—
23年7月期第3四半期	897	—	△261	—	△244	—	△552	—

(注) 包括利益 24年7月期第3四半期 82百万円 (—%) 23年7月期第3四半期 △508百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年7月期第3四半期	1,079.27	—
23年7月期第3四半期	△6,866.86	—

(注) 平成23年7月期第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、平成23年7月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年7月期第3四半期	3,481	3,252	93.4
23年7月期	3,401	3,169	93.2

(参考) 自己資本 24年7月期第3四半期 3,252百万円 23年7月期 3,169百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年7月期	—	0.00	—	—	—
24年7月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年7月期の連結業績予想(平成23年8月1日～平成24年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,850	58.8	68	—	100	—	98	—	1,218.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年7月期3Q	95,620 株	23年7月期	95,620 株
② 期末自己株式数	24年7月期3Q	15,193 株	23年7月期	15,193 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年7月期3Q	80,427 株	23年7月期3Q	80,427 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本業績予想は、現在入手可能な情報から、当社の経営者の判断に基づき作成しております。従いまして、本業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えられるようお願い致します。また、実際の業績は様々な要因により本業績予想とは、異なる結果となり得ることをご承知おきください。なお、業績予想に関する事項は、2ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

移動体通信分野では、大手通信事業者による次世代携帯電話の世界共通方式となるLTE (Long Term Evolution) の商用サービスが開始され、世界各国の主要な通信事業者や通信機器ベンダーが商用サービス開始に向けての開発投資を本格化しつつあります。スマートフォン等多種多様な携帯電話端末の普及により、通信速度及び大容量化へのニーズが高まっている一方で、通信品質の問題や加入者獲得競争、WiMAX等によるサービスの展開等により、通信事業者各社の競合状況は今後も一層の激化が予想されます。

また、固定通信分野におきましても光ファイバを中心としたブロードバンドサービスが進展し、IP化に伴うサービスの融合化が加速しております。

これらの技術や新サービスの導入に伴い積極的な研究開発投資が見込まれる一方で、サービスの低価格傾向は定着しており、通信各社の研究開発及び設備投資は選別的な姿勢が継続されるものと予想され、長期化する円高や欧州の金融不安など景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、以下の営業、マーケティング及び研究開発活動を行いました。

- (i) LTEに対応する製品の開発及び販売
- (ii) LTEに対応する商材開拓及び販売
- (iii) 中国、韓国、欧州、インド、北米等の海外市場におけるLTE対応製品の市場開拓及び販売
- (iv) WiMAXに対応した製品開発・商材開拓及び販売
- (v) 第3世代移動体通信対応製品の販売
- (vi) 次世代ネットワーク (NGN: Next Generation Network) に対応した製品開発・商材開拓及び販売
- (vii) 通信分野における新事業に向けたマーケティング及び研究開発

その結果、当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の売上高は以下のとおりとなりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、「モバイルネットワークテスト」を「モバイルネットワークソリューション」、「IPネットワークテスト」を「IPネットワークソリューション」と名称変更いたしました。セグメントの変更は名称のみでありますので、セグメント区分を変更したものではありません。

(モバイルネットワークソリューション) 1,103,690千円 (前年同期比34.6%増)

当セグメントの売上高は、1,103,690千円となりました。LTEに対応した製品の国内及び海外への販売、第3世代対応製品、WiMAXに対応した製品の販売によるものです。

(IPネットワークソリューション) 173,241千円 (前年同期比122.7%増)

当セグメントの売上高は、173,241千円となりました。VoIP市場向けの製品、イーサネットサービス向けのフィールドテスト用途の「サービステスタ」、NGNに対応するプロトコルテスタの売上によるものです。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高1,276,932千円 (前年同期比42.2%増)、営業利益55,610千円 (前年同期は261,918千円の営業損失)、経常利益87,830千円 (前年同期は244,285千円の経常損失) となり、四半期純利益86,802千円 (前年同期は552,281千円の四半期純損失) となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は3,050,275千円であり、前連結会計年度末に比べ、138,877千円増加いたしました。現金及び預金が312,279千円増加し、原材料及び貯蔵品が189,481千円減少したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、431,512千円であり、前連結会計年度末に比べ、58,909千円減少いたしました。投資その他の資産が28,621千円減少したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は212,480千円であり、前連結会計年度末に比べ、8,323千円減少いたしました。買掛金が100,140千円減少したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は3,252,470千円であり、前連結会計年度末に比べ、82,631千円増加いたしました。利益剰余金が86,802千円増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年7月通期業績予想につきましては、第3四半期連結累計期間における業績の進捗や今後の市場環境を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、業績予想を修正しております。詳細は、平成24年6月1日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第3四半期連結会計期間より、法人税法の改正に伴い、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更に伴う営業利益、経常利益、四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、前連結会計年度において、継続的な営業損失の発生及び営業キャッシュ・フローのマイナスを計上しております。これにより、将来にわたって事業活動を継続するとの継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。当該重要事象を解消するため、前連結会計年度に引き続き収益構造の改善、販売管理費の削減、研究開発テーマの絞込み等を実施し業績の改善を図ってまいります。資金につきましても、当第3四半期連結会計期間末時点での現金及び預金の残高は、2,092,300千円であり、財務面に支障はないものと考えております。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し、「継続企業の前提に関する注記」の記載には至りませんでした。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,780,021	2,092,300
売掛金	391,960	536,441
商品及び製品	446,959	354,651
仕掛品	12,891	8,106
原材料及び貯蔵品	243,761	54,279
その他	35,804	4,496
流動資産合計	2,911,398	3,050,275
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	12,197	10,617
工具、器具及び備品（純額）	87,398	66,406
有形固定資産合計	99,596	77,023
無形固定資産	23,541	15,825
投資その他の資産	367,284	338,663
固定資産合計	490,422	431,512
資産合計	3,401,820	3,481,788
負債の部		
流動負債		
買掛金	141,689	41,549
未払法人税等	793	1,525
賞与引当金	19,262	56,212
その他	59,059	113,194
流動負債合計	220,804	212,480
固定負債		
資産除去債務	8,102	11,286
その他	3,075	5,550
固定負債合計	11,177	16,837
負債合計	231,982	229,318
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,359,350	1,359,350
資本剰余金	1,500,547	1,500,547
利益剰余金	849,930	936,733
自己株式	△515,124	△515,124
株主資本合計	3,194,704	3,281,507
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△24,855	△30,696
為替換算調整勘定	△10	1,659
その他の包括利益累計額合計	△24,865	△29,037
純資産合計	3,169,838	3,252,470
負債純資産合計	3,401,820	3,481,788

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年4月30日)
売上高	897,910	1,276,932
売上原価	589,222	771,330
売上総利益	308,688	505,601
販売費及び一般管理費	570,607	449,991
営業利益又は営業損失(△)	△261,918	55,610
営業外収益		
受取利息及び配当金	19,747	16,660
為替差益	—	2,558
保険解約返戻金	832	11,462
その他	839	1,588
営業外収益合計	21,419	32,271
営業外費用		
支払利息	—	50
為替差損	3,785	—
営業外費用合計	3,785	50
経常利益又は経常損失(△)	△244,285	87,830
特別損失		
固定資産除却損	88	—
特別損失合計	88	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△244,373	87,830
法人税、住民税及び事業税	1,720	1,750
法人税等調整額	306,187	△722
法人税等合計	307,907	1,028
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△552,281	86,802
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△552,281	86,802

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△552,281	86,802
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43,595	△5,841
為替換算調整勘定	582	1,670
その他の包括利益合計	44,177	△4,171
四半期包括利益	△508,103	82,631
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△508,103	82,631
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年8月1日 至 平成23年4月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額（注）
	モバイル ネットワーク ソリューション	I P ネットワーク ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	820,108	77,801	897,910
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	820,108	77,801	897,910
セグメント利益又は損失（△）	△270,362	8,443	△261,918

（注）セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年8月1日 至 平成24年4月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額（注）1
	モバイル ネットワーク ソリューション	I P ネットワーク ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	1,103,690	173,241	1,276,932
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,103,690	173,241	1,276,932
セグメント利益	12,065	43,544	55,610

（注）1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 第1四半期連結会計期間より、「モバイルネットワークテスト」を「モバイルネットワークソリューション」、「IPネットワークテスト」を「IPネットワークソリューション」と名称変更いたしました。セグメントの変更は名称のみでありますので、セグメント区分を変更したものではありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。